

●保護者の方へ、事前に必ずお読みください。

## ロタウイルス感染症の予防接種を受けるに当たっての説明文 (令和2年10月から定期接種化となります。)

予診票は、医療機関に設置してあるものをご使用ください。

### 1 病気の説明 ～ロタウイルス胃腸炎とは?～

ロタウイルスによって引き起こされる急性の胃腸炎で、乳幼児期(0～6歳頃)にかかりやすい病気です。このウイルスは感染力が強く、ごくわずかなウイルスが体内に入るだけで感染してしまいます。

通常、5歳までに、ほぼすべてのこどもがロタウイルスに感染するといわれ、大人はロタウイルスの感染を何度も経験しているため、ほとんどの場合軽い症状で済むか、症状が出ません。

しかし、乳幼児は、激しい症状が出ることが多く、特に初めて感染したときに症状が強くなるため、ワクチン接種を早い時期に開始し、早期に予防効果を獲得する必要があります。主な症状は水の様な下痢(白い、米のとぎ汁状のもの)、吐き気、嘔吐、発熱、腹痛です。脱水症状がひどくなると点滴や入院を要することもあります。

### 2 対象者及び接種スケジュール

対象者:令和2年8月1日以後に生まれた者であって、下記表のワクチン種類ごとに定めた要件を満たし、令和2年10月1日以降に接種を行うこと。※令和2年9月30日以前の接種については、任意接種扱いとなり、全額自己負担となります。

ワクチンの種類 (商品名・価数)	経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン(ロタリックス®・1価)	5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン(ロタテック®・5価)
接種時期と回数 ※1	出生6週0日後から24週0日後までの間で2回 ※2	出生6週0日後から32週0日後までの間で3回 ※2
接種間隔	27日以上の間隔をおいて、次の接種を行う	
接種方法	ワクチンを飲むことで接種します(経口投与) ※3	

※1 ワクチンの種類によって接種回数が異なるため、1回目に受けたワクチンと同じ種類を続けて接種してください。また、ワクチンの違いによる予防効果・安全性は同等と考えられています。

※2 各ワクチンの定める接種時期を超過してしまった場合、定期接種(公費)・任意接種(自費)に関わらず接種はできません。

※3 接種後に赤ちゃんがワクチンを吐き出した場合も、一定の効果が認められることから、その回の追加接種は必要ありません。

～ 裏面もご覧ください ～

### 3 ロタウイルスワクチン接種後の注意点と副反応

- ・重いアレルギー症状が起こることもあるため、接種後30分は安静にしてください。また、接種当日の入浴については差し支えありません。
- ・主な副反応としては、ぐずり、下痢、咳、発熱、食欲不振、嘔吐などで、まれにおこる重大な副反応としてアナフィラキシーがあります。また、接種後、1週間程度は腸重積症の発症リスクが高まるとの報告があるため、下記のような症状がひとつでも見られた場合、速やかに医師の診察を受けるようにしてください。

#### 《腸重積症の説明と症状》

- ・ワクチンの接種有無にかかわらず、1歳前（3、4か月齢から増加）の赤ちゃんがかかりやすい病気のため、発症リスクを引き下げるためにも早期のワクチン接種開始と完了が重要です。
- ・腸の一部が、腸の他の部分に入り込んだことによって、閉塞した状態のこと。腸重積症になると、腸が詰まり血流が悪くなることで、組織が壊死する可能性があります。治療するには、通常肛門から液体や空気を入れることで、腸を元に戻すこととなりますが、発症から時間が経つほど（12時間以上）、腸組織が壊死するため、外科手術になる割合が増えることとなります。

- |                                            |                                               |
|--------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ぐったりして元気がない       | <input type="checkbox"/> 血便が出る（粘液と血が混ざったような便） |
| <input type="checkbox"/> 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す | <input type="checkbox"/> 嘔吐を繰り返す              |

※腸重積症の疑いで他の医療機関を受診する際は、母子健康手帳を持参のうえ、接種したワクチンの種類（ロタリックス・ロタテック）を医師にお伝えください。また、他の医療機関を受診した際は、それまでロタウイルスワクチンを接種していた医療機関へもお知らせください。

### 4 定期接種の対象者から外れる方

- (1) 明らかな発熱を呈している者（37.5℃以上）
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
- (3) このワクチンの成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者
- (4) 腸重積症の既往歴があることが明らかな者
- (5) 腸重積症の発症を高める可能性のある未治療の先天性消化管障害（メッケル憩室等）を有する者  
※その治療が完了している者は除く
- (6) 重症複合型免疫不全（SCID）を有する者

### 5 定期接種するに当たって留意点

出生15週0日後以降の初回接種については安全性が確立されておらず、出生14週6日後までに1回目の接種を行うことが望ましいとされています。

（お問い合わせ）

旭川市保健所健康推進課保健予防係

電話 0166-25-9848